

## 総務委員会（7人）

委員長 二宮 仁 副委員長 山戸 重治  
 委員 大崎 延次 山根 信行 巻幡 伸一 荒川 京子 杉原 孝一郎

こんなことを  
審査します

- ・市行政の企画及び総合調整について
- ・総合計画の推進について
- ・行財政運営について
- ・広報広聴について
- ・市税、国民健康保険料、介護保険料及び後期高齢者保険料の賦課徴収について
- ・庁舎管理及び整備について
- ・行政組織及び職員管理について
- ・情報公開について
- ・消防行政について
- ・情報化の推進について
- ・選挙管理委員会について
- ・生活安全対策について
- ・公平委員会、監査委員について

本委員会が付託を受けた2議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。  
 まず議案第158号にかかわり、特定一般用医薬品等購入費に係る医療費控除特例の新設について、医薬品の種類、医療費控除の限度額をただしたのに対し、スイッチOTC薬が対象であり、この特例により今後は処方箋なしでも購入することができる、医療費控除は購入額が1万2千円を超えた場合に対象となり、限度額が10万円のため、実質8万8千円が所得控除額の上限との答弁がありました。  
 次に、議案第145号にかかわり、防犯灯設置補助金の補正についてただしたのに対し、LEDの防犯灯新設に1灯あたり2万円を上限とした補助金を出しており、申請件数から400万円の不足が見込まれるためと答弁がありました。また、市史編さん委員会事務局の人員体制及び増員理由をただしたのに対し、3名の職員を配置し、新聞記事の収集を急いでいると答弁がありました。  
 議案以外では、新庁舎建設に係る工法及び工事発注の業者選定並びに液状化対策、防災拠点のあり方、避難所の設営、消防救急防災システム、職員の採用試験、事務のミス防止について質疑、意見、要望があり、それぞれ答弁がありました。

## 民生委員会（7人）

委員長 宮地 寛行 副委員長 加納 康平  
 委員 柿本 和彦 魚谷 悟 藤本 友行 新田 賢慈 檀上 正光

こんなことを  
審査します

- ・民生行政について
- ・環境行政について
- ・清掃行政について
- ・保健行政について
- ・国民健康保険事業について
- ・介護保険事業について
- ・後期高齢者医療制度について
- ・病院事業について

本委員会が付託を受けた4議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。  
 子どもの生活実態調査事業の質疑に対し、子どもや子育て世帯の状況について調査を実施し、貧困対策に必要なとされる支援・ニーズを把握するものであると答弁がありました。  
 これに対し、情報流出が無いようにと要望がありました。  
 また、調査をすることが目的化されている傾向があり、調査、実務、効果の検証と最低でも3回は調査が必要ではないかという質疑に対し、今後必要に応じて考えると答弁がありました。  
 (仮称)美木原放課後児童クラブの建設費の質疑に対し、当初改修予定であった施設を調理室にする必要が生じたため、グラウンド東側に放課後児童クラブを建設することになったと答弁がありました。  
 また関連して、建設工事設計等委託料の内訳の質疑に対し、約3分の2は設計費で、残り3分の1は地質調査になると答弁がありました。  
 高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画の策定調査が早まった理由はなぜかという質疑に対し、調査を年末までに行うよう国から通知があったと答弁がありました。  
 その他、フィンランドでの子育て支援策等について、質疑、提案、要望があり、それぞれ答弁がありました。

## 文教委員会（7人）

委員長 田頭 敬康 副委員長 岡野 長寿  
委員 星野 光男 城間 和行 石森 啓司 高本 訓司 宇根本 茂

こんなことを  
審査します

・教育行政について

本委員会が付託を受けた議案につきましては、全会一致で可決すべきものと決定いたしました。審査の過程において、各委員から述べられた質疑、意見、要望の主なものは、次のとおりです。

議案関連では、議案第145号平成28年度一般会計補正予算にかかわり、高等学校管理費の非構造部材等耐震補強工事の内容と、この事業債名やその充当率、交付税算入率等について、また、市立中央図書館の修繕料と設計委託料の内容について質したのに対して、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

議案以外の委員会所管事務に関するものとして、雑誌等の図書資料の整備方法、小中学校のトイレの水洗化・洋式化、小中学校のクラス定員の現状、普通教室へのエアコン設置、教職員の事務量軽減のための補助職員配置、定時制の尾道南高等学校の生徒への給食の提供、美木原小学校統合のための施設整備状況、就学援助支給の時期、中学校のデリバリー給食の実施率、中学校の部活動での部費の徴収の有無、学校における介護福祉教育の実施等について質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。



## 産業建設委員会（7人）

委員長 前田 孝人 副委員長 吉田 尚徳  
委員 岡野 斉也 吉和 宏 福原 謙二 佐藤 志行 飯田 照男

こんなことを  
審査します

- ・農林水産業の振興について
- ・観光行政について
- ・公有財産について
- ・都市行政について
- ・下水道事業について
- ・水道事業について
- ・商工業の振興について
- ・土木行政について
- ・港湾事業について
- ・汚水処理事業について
- ・建築行政について
- ・農業委員会について

本委員会が付託を受けた11議案につきましては、全会一致で可決すべきものと決定いたしました。審査では、6月の大雨で被害を受けた市道や河川の全体の復旧費について質疑があり、理事者より8億2千5百万円余りであり、その内訳は、市道は110件、約7億1千6百万円、河川は33件、約1億9百万円であると答弁がありました。

また、復旧作業の全体スケジュールへの質疑に対し、理事者より作業は今年度と来年度の2カ年で、緊急度に応じて早急に対応し、今年度は6億8千万円程度の発注をしたいと答弁がありました。

議案外の所管事務に関わり有害鳥獣による農業被害額の推移、地区別の被害額と被害額減少の要因、狩猟フォーラムの内容、発注工事の図面等の作成者、納品された図面等のチェック体制と専門知識をもった職員の確保、百島支所建設工事入札の経過と結果の受け止め、今後の見通しと工程への影響、尾道駅新駅舎構内への自転車組み立て場の設置についてJRとの協議状況、サイクリストの実態調査と組み立て場整備の必要性、新開活性化事業の可能性、コンテスト応募総数と新開地区からの応募の有無について、質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。